

報道機関のみなさまへ

情報提供日	2018年(平成30年)11月7日 No.3019
問い合わせ先	産業振興室 市立天文科学館 井上、鈴木 078-919-5000 (内線 7152)

小惑星「シゴセンジャー」命名記念講演会開催！

当館では、小惑星「シゴセンジャー」命名を記念して、発見者である高知県の天文家・関 勉(せき つとむ)さんによる講演会を開催しますのでお知らせします。

記

- 1 名称：小惑星「シゴセンジャー」命名記念 関勉さん講演会
- 2 日時：2018年11月11日(日) 14:30~15:20
- 3 会場：明石市立天文科学館 2階プラネタリウムドーム
- 4 内容：2018年7月11日、国際天文学連合により小惑星 1990UD1 (17461) は「シゴセンジャー (Shigosenger)」と命名されました。命名を記念して、小惑星の発見者である高知県の天文家・関 勉(せき つとむ)さんによる講演会をおこないます。
- 5 講師：関 勉(せき つとむ) さん
1930年高知市上町生れ。1950年から自宅の屋上に天文台を設置し、新彗星の捜索を始める。1961年に「関彗星」を発見、また1965年に発見された「池谷・関彗星」は太陽尾をかすめる大彗星となり、彗星ブームを巻き起こす。1980年から芸西天文台にて、天文普及を努めながら、新天体の発見に力を注ぐ。6個の新彗星、25個の周期彗星、223個の小惑星を発見。
- 6 定員：300人(当日整理券制)
- 7 その他：軌道星隊シゴセンジャーについて
明石市立天文科学館のオリジナル・キャラクターで、2005年にデビュー以来、こどもたちを対象としたプラネタリウムを中心に活躍を続けています。今回の命名は、シゴセンジャーを含めた当館のこれまでの天文教育への貢献が評価されたものであり、大変光栄な出来事です。



小惑星「シゴセンジャー」発見者
関 勉さん



小惑星「シゴセンジャー」発見写真
1990年10月20日撮影(提供：関 勉さん)



軌道星隊シゴセンジャー

15分間隔で望遠鏡の向きを少しだけ移動させ、二重撮影しています。小惑星は、他の恒星と比べ移動している事が分かります。発見時の明るさは17等。